

試験開始の合図があるまで、問題冊子を開かないでください。

令和7年度 第9回しらかわ検定

2級 問題冊子

(問題数50問 試験時間50分)

注意事項

- 1 試験中は受験票、筆記用具、時計(通信機能のないもの)及び飲み物(水筒、ペットボトル等)以外は全てかばん等にしまってください。
- 2 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 3 問題冊子は、24ページあります。印刷が不鮮明であったり、ページが不足していたりする場合や、解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて係員にお知らせください。ただし、問題に関する質問にはお答えできません。
- 4 解答は、解答用紙の1から4の数字のうち、正答と思われる番号一つに丸を付けてください。

例えば【第1問】に対して「1」と解答する場合は、次の(例)のように解答用紙に丸を付けてください。

(例)

第1問	①	2	3	4
-----	---	---	---	---

- 5 解答用紙に正しく丸が付けられていない場合や二つ以上に丸が付いている場合は、不正解とします。
- 6 不正行為を行った場合は、その時点で受験を取りやめ退室していただきます。
- 7 不明な点がある場合や、体調不良やトイレでやむを得ず席を立つ場合は、手を挙げて係員にお知らせください。

【第1問】

^{いちりだん}一里段A遺跡^{いせき}から発見された、およそ2万7千年前から2万3千年前ごろ
と考えられているものは、どれですか。

- ① 土器 ② 磁器 ③ 石器 ④ ^{かわら}瓦

【第2問】

^{じょうもん}縄文時代の白河^{いせき}の遺跡について、正しいものはどれですか。

- ① ^{たいしん}大信地域で、^{みなみほりきり}南堀切遺跡が発見された
- ② ^{まちや}町屋遺跡から^{とちぎけん}栃木県産の^{こくようせき}黒曜石が出土した
- ③ ^{しもくろかわ}下黒川遺跡は、^{ごか}五箇地区の^{なんたん}南端の^か河岸段丘^{かんだんきゅう}上にある
- ④ ^{たきのもり}滝ノ森B遺跡から、^{きゅうしゅう}九州産の^{ひすい}翡翠が出土した

【第3問】

てんのうやまいせき
天王山遺跡について、正しいものはどれですか。

- ① クルミ・クリが出土しているが、米は出土していない
- ② じんめんつきやよい
人面付弥生土器が発見された
- ③ 出土した土器群は、「てんのうやま天王山式土器」と命名されている
- ④ しらさか白坂地区の標高500mのきゅうりょうちょうじょうぶ丘陵頂上部に位置している

【第4問】

おもてごう
表郷地域に所在し、せきせい も ぞうひん大量の石製模造品が出土したいせき遺跡はどれですか。

- ① たてほこやまさいし
建銚山祭祀遺跡
- ② やちくほこふん
谷地久保古墳
- ③ みなみほりきり
南堀切遺跡
- ④ せきわぐかんが
関和久官衙遺跡

【第7問】

次の文章の（ ）に当てはまるものはどれですか。

（ ）は本沼芦ノ口に所在している上円下方墳で、全国でも数件しか調査事例がなく、東北地方では白河にのみ存在している。

- ① 谷地久保古墳 ② 鶴子谷古墳
③ 大塚山古墳 ④ 野地久保古墳

【第8問】

奈良・平安時代の白河について、間違っているものはどれですか。

- ① 関和久官衙遺跡から鉄剣が出土している
② 借宿廃寺跡は、法隆寺式伽藍を有する寺院である
③ 関和久官衙遺跡から掘立柱建物跡、礎石建物跡などが見つかった
いる
④ 借宿廃寺跡から埴仏が出土している

【第9問】

次の文章の（ ）に当てはまるものはどれですか。

中世に白河の地を治めた白河結城家の先祖は、下野国（栃木県）の有力
武士であった（ ）氏である。

- ① 小山 ② 足利 ③ 宇都宮 ④ 佐野

【第10問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまるものの組み合わせ
はどれですか。

結城宗広は（ A ）側に参加し、全国に転戦し功績をあげた。宗広
のものとされている墓は（ B ）のほかにもあり、あわせて3か所存在
する。

- ① A：南朝（後醍醐天皇） B：常宣寺
② A：北朝（足利尊氏） B：常宣寺
③ A：南朝（後醍醐天皇） B：関川寺
④ A：北朝（足利尊氏） B：関川寺

【第11問】

白河市に所蔵されている「しらかわゆう き け もんじょ白河結城家文書」について、まちが間違っているものはどれですか。

- ① 国指定重要文化財である
- ② 最も古いものは、えんとく延徳2年（1490）のものである
- ③ およそ90通からなっている
- ④ 白河結城家のすけひろ むねひろ祐広、宗広らの名も記された、かまくら鎌倉時代後期の系図が残されている

【第12問】

ちゆうせい中世白河のじょうかんあと城館跡について、正しいものはどれですか。

- ① とみざわてあと富沢館跡は、あ ぶくまがわう がん阿武隈川右岸のきゅうりょう きず丘陵に築かれた山城で、やまじろ白河領の南部を抑えるおさ きよてん拠点であった
- ② こうや高野館跡は、せんごく戦国時代には常陸のひたち さたけし そな佐竹氏に備え、ほうび白河本城防備の拠点としてせいび整備されたとみられる
- ③ てんのう天王館跡は、や ぶかわさ がん矢武川左岸の丘陵に築かれ、常陸の佐竹氏との合戦で最前線きち基地となった
- ④ しんちやま新地山館跡は、東西1.2kmにわたっており、その広さは白河地方で最大規模である

【第13問】

天文13年（1544）に結城義綱・晴綱父子らが奉納した銅鐘が懸けられていた鹿嶋宮（現・鹿嶋神社）の別当寺は、次のうちどれですか。

- ① 小峰寺 ② 松林寺 ③ 最勝寺 ④ 関川寺

【第14問】

次の文章の（ ）について、当てはまるものはどれですか。

道場町にある時宗の寺院である小峰寺には、乾元2年（1303）につく造られたとされる（ ）がある。

- ① 木造釈迦如来坐像 ② 銅造十一面観音立像
③ 木造柿本人麻呂像（伝）頓阿作 ④ 木造阿弥陀如来立像

【第15問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまる正しい組み合わせはどれですか。

馬町うままちにある（ A ）は、臨濟宗りんざいしゅうの寺院であり、結城顕朝ゆうきあきともが父（ B ）とむらを弔うために、円明寺えんみょうじ付近に改め造立ぞうりゅうしたと言われている。

- ① A：大統寺だいたうじ B：親朝ちかとも ② A：大統寺 B：義親よしちか
- ③ A：山王寺さんのうじ B：義親 ④ A：山王寺 B：親朝

【第16問】

源翁和尚げんのう おしろうと常在院じょうざいいんについて、正しいものはどれですか。

- ① 殺生石せつしょうせきのかけらと伝えられる石が残されている
- ② 源翁和尚が自ら造つくらせた「木造源翁和尚坐像もくぞうげんのう おしろう ざざう」が残っている
- ③ 「紙本著色源翁和尚行状縁起しほんちゃくしよくげんのう おしろうぎょうじょうえんぎ」に、陰陽師おんみょうじ・安倍晴明あべのせいめいが登場する
- ④ 磐梯山ぼんだいさんの殺生石せつしょうせきを教化きょうかしたと伝えられる僧そうである

【第17問】

白河結城家について、間違っているものはどれですか。

- ① 結城親朝は、8つの郡・荘・保にまたがる検断職に任じられていた
- ② 結城宗広は、「公家の御宝」と賞賛された
- ③ 分家である小峰家との対立から永享の変(永享10年(1438))
が起こった
- ④ 結城義親は、豊臣秀吉から領地をすべて没収された

【第18問】

白河藩主で外様大名だった家はどれですか。

- ① 丹羽家 ② 榊原家 ③ 本多家 ④ 阿部家

【第19問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまる正しい組み合わせはどれですか。

寛永^{かんえい}4年（1627）、丹羽^{にわげ}家は（ A ）より入封^{にゅうほう}し、寛永20年（1643）に（ B ）へ移封^{いほう}した。

- ① A：二本松^{にほんまつ} B：棚倉^{たなぐら} ② A：二本松 B：桑名^{くわな}
③ A：棚倉 B：二本松 ④ A：棚倉 B：桑名

【第20問】

白河藩^{しらかわはん}に移^{うつ}ってきた時と出るとき^{さんぼうりょうち}の両方が三方領知^ち（地）替^{がえ}だった家はどれですか。

- ① 松平^{まつだいら}（奥平^{おくだいら}）家^け ② 松平^{まつだいら}（久松^{ひさまつ}）家^け
③ 松平^{まつだいら}（結城^{ゆうき}）家^け ④ 阿部^{あべ}家^け

【第21問】

白河藩の領地について、間違っているものはどれですか。

- ① 寛永4年(1627)には、現在の福島県内だけに藩領があった
- ② 寛保元年(1741)には、現在の新潟県にも藩領があった
- ③ 文政6年(1823)には、現在の茨城県にも藩領があった
- ④ 弘化元年(1844)には、現在の兵庫県にも藩領があった

【第22問】

小峰城について、正しいものはどれですか。

- ① 丹羽長重は小峰城の大改修を約20年かけて行った
- ② 石垣造りへの改修は、幕府の意向でもあった
- ③ 櫓と門の50の建物の図面である「白河城御櫓絵図」が、残されている
- ④ 昭和35年(1960)に帯曲輪の一角に野球場を整備した

【第25問】

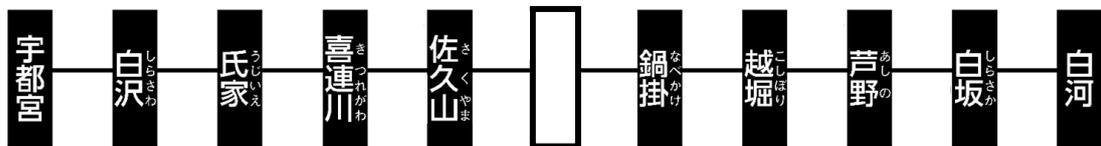
江戸時代の街道について、() に当てはまるものはどれですか。

白河には「() 街道」の一つである奥州街道（奥州道中）が通っており、白坂宿は豊臣秀吉の命令で作られたとされている。

- ① 二 ② 五 ③ 八 ④ 十三

【第26問】

次の図は、奥州街道（奥州道中）の街道順路図です。□ に当てはまる宿場はどれですか。



- ① 石橋 (いしはし) ② 小金井 (こがねい) ③ 大田原 (おおたわら) ④ 烏山 (からすやま)

【第27問】

助郷^{すけごう}について、正しいものはどれですか。

- ① 助郷に定められた村は輸送費^{ゆそうひ}として多額の金銭収入^{きんせんしゅうにゅう}があった
- ② 農繁期^{のうはんき}であれば、応援^{おうえん}を断^{ことわ}ることができた
- ③ 白坂宿の助郷は、現在の西郷村^{にしごうむら}にも存在^{そんざい}した
- ④ 交通量の増加によって、助郷の負担^{ふたん}は減っていた

【第28問】

白河藩^{しらかわはん}における町と村の仕組みについて、間違^{まちが}っているものはどれですか。

- ① それぞれの村には庄屋^{しょうや}があり、その上にいくつかの村を束ねる
大庄屋^{おおじょうや}がいた
- ② 村では庄屋・組頭^{くみがしら}・百姓代^{ひやくしょうだい}の「村方三役^{むらかたさんやく}」が、村政^{そんせい}を取り仕切った
- ③ 町では町年寄^{まちとしより}、検断^{けんだん}がいて、町全体を管理した
- ④ 町方には「七人組^{しちにんぐみ}」という組織があった

【第29問】

年貢^{ねんぐ}の仕組みについて、正しいものはどれですか。

- ① 年貢^{ねんぐ}納入^{のうにゅう}の目標数量^{ねんぐかいさいもくろく}を定めた年貢皆済^{ねんぐかいさいもくろく}目録が配られた
- ② 百姓^{ひやくしやう}一人ひとりに年貢^{ねんぐ}を割り当てて、一括^{いっかつ}で納入^{ねんぐ}させた
- ③ 年貢^{ねんぐ}の納入^{ねんぐ}期限^{きげん}は、たいてい3月の末ごろに設定^{せってい}されていた
- ④ 年貢^{ねんぐ}は現物や金銭で、納められた

【第30問】

越後高田藩^{えちごたかはん}と釜子陣屋^{かまのこじんや}について、間違っているものはどれですか。

- ① 寛保元年^{かんぼう}（1741）に松平^{まつだいら}（久松^{ひさまつ}）家は、越後^{えちご}の領地^{りやうち}の一部を残したまま越後高田藩^{えちごたかはん}から白河^{にゅうほう}に入封^{にゅうほう}した
- ② 遠く離れた領地^{はな}を管理・支配^{しゆつちやうじよ}するために出張^{しゆつちやうじよ}所である「陣屋」が、当初^{あさかわ}は浅川^{あさかわ}におかれ、のちに釜子^{かま}に移転^{いこう}した
- ③ 戊辰戦争^{ぼしんせんそう}の際に、釜子陣屋^{かまのこじんや}の高田藩士^{たかたはんし}は新政府軍^{しんせいふぐん}に従^{したが}った
- ④ 明治5年^{めいじ}（1872）以降^{いこう}に記されたと考えられている「釜子陣屋^{かまのこじんや}絵図」が残されている

【第31問】

まつだいらさだのぶ
松平定信とその政策について、正しいものはどれですか。

- ① 宝暦8年（1758）に白河藩主に就任した
- ② 藩校「敷教舎」を設立し、藩士の11歳以上の子息全員に入学を命じた
- ③ 50歳で老中首座に就任し、「天保の改革」を行った
- ④ 天明の飢饉に際して、寄付者を賞し、その功績を讃える感札を与えた

【第32問】

まつだいらさだのぶ
松平定信が行った産業の振興で、間違っているものはどれですか。

- ① 白河藩窯で藩の特産品として「白河焼」を制作させた
- ② 加賀から職工を招き、町人に織物を学ばせた
- ③ 毎年迫駒を行い、領内の馬産を奨励した
- ④ 須賀川でガラスを製造させた

【第33問】

白河藩しらかわはんにおいて間引きまびの悪習をやめるよう民衆みんしゅうの教化きょうかを図るために用いられたものは何ですか。

- ① 聖母子像せいぼしぞう ② 木造扁額もくぞうへんがく 鬼子母神きしもじん
- ③ 十六善神じゅうろくぜんしんの図ず ④ 絹本けんぼん著色ちやくしよく受苦じゅく図ず

【第34問】

松平定信まつだいらさだのぶの行った文化事業について、正しいものはどれですか。

- ① 広瀬蒙斎ひろせもうさい (典てん) により『白河証古文書しらかわしょうこもんじょ』が編さんされた
- ② 「感忠銘かんちゅうめい」は、幕府ぼくふの意向を受けて作成された
- ③ 『白河古事考しらかわこじこう』は、本田東陵ほんだとうりょうを中心に編さんされた
- ④ 白河関しらかわのせきの場所の考証こうしょうを行い、白坂しらさかにあったと断定だんていした

【第35問】

『^{しゅうこじっしゆ}集古十種』について、^{まちが}間違っているものはどれですか。

- ① 全国規模で重要な古物（文化財）を模写し、^{ずろく}図録として編さんした
- ② ^{しゅうろく}収録された古物は1, 859点、85冊にまとめられている
- ③ 収録された古物は、^{げんざい}現在もすべて良好な^{じょうたい}状態で^{ほぞん}保存されている
- ④ ^{まつだいらさだのぶ}松平定信付の^{えし}絵師であった、^{たにぶんちょう}谷文晁らが^{たずさ}携わった

【第36問】

^{まつだいらさだのぶ}松平定信の^{ちくぞう}庭園の^{ちくぞう}築造について、(A)と(B)に当ては

まる正しい組み合わせはどれですか。

^{かんせい}松平定信は寛政5年（1793）～6年ころ、^{げんざい}現在の^{とうきょうとちゅうおうく}東京都中央区に

(A)を築造し、^{きやうわ}享和元年（1801）に(B)を現在の

白河市に築造した。

- ① A : ^{よくおんえん}浴恩園 B : ^{さんかくしえん}三郭四園
- ② A : 浴恩園 B : ^{なんこ}南湖
- ③ A : ^{りくえん}六園 B : 三郭四園
- ④ A : 六園 B : 南湖

【第37問】

南湖なんこについて、()に当てはまるものはどれですか。

南湖なんこができる以前、この地は、低湿地帯ていしちたいで葦あしが茂り、()と呼ばれおり、松平定信まつだいらさだのぶより以前にも、白河藩主本多忠義しらかわはんしゅほん だたよしがこの地の開拓かいたくを行ったとされる。

- ① 大沼おおぬま ② 小沼こぬま ③ 大清水おおしみず ④ 鏡沼かがみぬま

【第38問】

松平定信まつだいらさだのぶが揮毫きごうした白河市指定文化財の扁額へんがくについて、()には同じ語句ごくが入りますが、当てはまるものはどれですか。

妙関寺みょうかんじの木造扁額もくぞう「八幡宮はちまんぐう」は、八の字が()が二羽並んだように見えるため、「()八幡」ともいわれる。

- ① カラス ② 雀すずめ ③ 鳩はと ④ 鶴つる

【第39問】

稻荷山付近いなりやまにある銷魂碑しょうこんひはどこの藩はんの戦死者を吊とむらったものですか。

- ① 長州藩ちょうしゅうはん ② 二本松藩にほんまつはん
③ 大垣藩おおがきはん ④ 会津藩あいづはん

【第40問】

次の文章の（ ）について、当てはまるものはどれですか。

『曾良そら随行ずいこう日記』には、須賀川すかがわ滞在たいざい中に相楽等さがらとう躬きゆう（乍憚きたん）から聞いた白河の名所として、（ ）など5か所が記されている。

- ① 南湖
- ② 宗祇そうぎ戻し
- ③ 庄司しょうじ戻しの桜
- ④ 関山せきさん

【第41問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまる正しい組み合わせはどれですか。

（ A ）は白河しらかわ藩はん絵師えしで、『集古十種』、『古画類聚』に携たずさわった。

（ B ）は『集古十種』の編へんさんに携たずさわり、常宣寺じょうせんじなどの住職じゅうしやくを務つとめた。

- ① A：中島山麗なかじまさんれい B：白雲はくうん
- ② A：大野文泉おおのぶんせん（巨野泉祐） B：白雲
- ③ A：大野文泉おおのぶんせん（巨野泉祐） B：蒲生羅漢がもうらかん
- ④ A：中島山麗 B：蒲生羅漢

【第42問】

明治^{めいじ}2年(1869)8月に発足した白河^{しらかわけん}県の管轄^{かんかつち}地がなかった地域^{ちいき}はどれですか。

- ① 岩瀬^{いわせぐん}郡 ② 石川^{いしかわぐん}郡 ③ 信夫^{しのぶぐん}郡 ④ 磐前^{いわさきぐん}郡

【第43問】

次の文章の()について、当てはまる数字はどれですか。

明治^{めいじ}5年(1872)3月の白河^{しらかわぐん}郡には()つの区^{そんざい}が存在していた。

- ① 4 ② 6 ③ 8 ④ 10

【第44問】

明治^{めいじ}19年(1886)、白河^{ちいき}地域では3つの小学校が合併^{がっぺい}して白河小学校となりました。その時に合併した小学校は、新町小学校と中町小学校とあと一つはどこでしょうか。

- ① 桜町^{さくらまち}小学校 ② 双石^{くらべいし}小学校
③ 久田野^{くたの}小学校 ④ 本沼^{もとぬま}小学校

【第45問】

明治時代の白河の近代産業について、正しいものはどれですか。

- ① 中町にある旧白河宿本陣の建物に、白河県立の病院が開業した
- ② 白河郵便取扱所は、明治5年（1872）に本町に置かれた
- ③ 明治6年（1873）、岩淵製糸が本町通りで操業を始めた
- ④ 白河町で最初に開業した銀行は、白河実業銀行である

【第46問】

白河の馬市について、正しいものはどれですか。

- ① 江戸時代には藩が保護政策をとり、近隣の地方からも売買のために人々が集まった
- ② 戊辰戦争からの復興のために農耕馬が多く必要となり、馬産も活性化した
- ③ 鉄道が開通したため、白河の馬市は明治期に衰退し、大正期まで中断していた
- ④ 昭和期の馬市で売られる馬の産地は、北海道と東北地方に限られていた

【第47問】

明治以降の道路の発展について、間違っているものはどれですか。

- ① 奥州街道は明治6年（1873）に、陸羽街道と改称した
- ② 原方街道は明治17年（1884）に、新陸羽街道と改称した
- ③ 国道から里道となった旧陸羽街道の宿場町や村々は、衰退していった
- ④ 田町大橋は、大正9年（1920）に、コンクリート製の橋に掛け替えられた

【第48問】

次の文章の（ A ）と（ B ）に当てはまる正しい組み合わせはどれですか。

白河の有志は、（ A ）に深い敬意を抱いていた（ B ）に働きかけ、大正11年（1922）には（ A ）を祀る南湖神社を作った。

- ① A：丹羽長重 B：渋沢栄一
- ② A：丹羽長重 B：北里柴三郎
- ③ A：松平定信 B：北里柴三郎
- ④ A：松平定信 B：渋沢栄一

【第49問】

「にししらかわぐん西白河郡白河町北新道ノ内字むかいでら向寺わ切り割りノ図」を含む『福島県道路風景画ちょう帖』を描いた人物は誰だれですか。

- ① やました山下りん ② かわさき川崎プツペ
- ③ たかはし ゆいち高橋由一 ④ せきね しょうじ関根正二

【第50問】

明治天皇がめいじてんのう白河本町旧脇本陣柳屋旅館をしゆくはく宿泊・きゆうけいじょ休憩所として利用したのは、いつですか。

- ① めいじ明治3年（1870） ② 明治14年（1881）
- ③ 明治20年（1887） ④ 明治34年（1901）

